

平成30年度 同窓会活動報告

1 会員の夢実現に向けた支援体制の充実・強化

- * 会員への一斉メール送信を使用して下記の情報発信を行った。
 - ・ 会員からの要請によるイベント案内や募集案内……………21 件
 - ・ 夢追塾同窓会事務局からの要請によるイベント案内……………6 件
 - ・ いきがい活動ステーションからの要請によるイベント案内……………5 件
- * 「同窓会だより」で会員の活動を紹介
 - ・ 1 号～23 号を会員に一斉メール送信するとともにホームページに掲載した。
- * 会員の活動を支援するため、昨年4月から活動を開始した「80歳からの合唱団北九州」はじめ同窓会の事業目的に合致する多くのイベントを名義後援で支援、同窓会だよりで報告した。
- * 生涯現役夢追塾のイベントについては会員にメール等で紹介するとともに希望会員が参加することで連携した。
- * FMキタキューウの「元気シニアの玉手箱」の出演に協力することで夢追塾および同窓会のPRに寄与した。
- * ホームページに掲載している会員の活動状況の更新のため卒業期ごとにアンケート集計した。ホームページのリニューアルに合わせて更新作業中。
- * 広報委員会をほぼ毎月開催し、特に「同窓会ホームページ」を会員が利用しやすい内容に改良し運用した。主な改良点は①新着情報②会員向け掲示板（募集）③同窓会カレンダー（予定）……のページを追加し会員支援活動の見える化を実現した。

2 会議の運営（役員会・事務局会議、その他）

- * 役員会は役員の仕事量を軽減するために原則として2か月に1回の開催とし、事務局会議で不要と判断した場合は不開催、逆に必要な場合はそのつど開催することにした。また出席者は各期2名以内とし、1名も参加できない期は事前に事務局に連絡することとした。
その結果、今年度は2018年6月22日、8月24日、10月26日、2019年1月25日、4月26日の5回開催した。
 - ・ 2か月に1回の開催になったことにより、各期の活動報告は可能な限り会員一斉送信やホームページのイベント情報などを活用することとした。それによって一斉送信依頼が増加した。また役員会での報告は希望の期のみとし、事前に資料を事務局に送信することとした。
 - ・ 10期が全員の休会したが、重要な連絡は元会長に送信した。
- * 役員会ははじめ同窓会主催の会議の参加者には1回300円の交通費を支給することとした。
- * 事務局会議も原則2か月に1回の開催に変更したが、必要と判断した場合は不定期に開催した。会場は当面、いきがい活動ステーションにした。
 - ・ 会議は2018年6/12、8/7、8/18、9/4、9/22、10/9、12/11、2019年1/15、2/12、3/22、4/9の計12回開催した。

3 同窓会の目的達成のための事業推進

- * 例年と同様に下記2件のイベントを開催した。
 - ・ 第10回定期総会・懇親会。
＜平成29年5月19日（土）＝ウェルとばた多目的ホール＞会員107人参加。
今後原則として2年ごとに2期ずつで事務局を担当するとの規約改正を承認。新たに3期と5期で構成する新事務局体制を承認、スタートした。
熊本大地震に6,930円、九州北部豪雨災害に7,650円の募金を集め送金した。
 - ・ 夢追いすてきな仲間たち2018
＜平成29年11月10日（土）、11日（日）＝ウェルとばた多目的ホール&交流プラザ＞
今回は初めてプレゼン会場と展示会場を分け、展示会場は2日間とした。
多目的ホールでのプレゼンテーションは9件、アトラクションは5件だった。
観覧参加者は154人（会員69人、会員外85人）。「80歳からの合唱団北九州」が出演した。
交流プラザでの展示は活動展示が7件、作品発表が5件だった。
熊本大地震に2,021円、九州北部豪雨災害に2,876円の募金を送金した。

4 北九州市、社会福祉協議会が主催する行事への協力

- ・ 2月17日（日）に開催された第6回北九州マラソンに今年も同窓会としてボランティア参加。昨年を上回る53人が清掃班、警備班、案内班の3班に分かれて協力した。

以上